

時代の変化に思う

理事長 川邊 溪子




発行所
 社会福祉法人
 道志会
 神奈川県綾瀬市早川城山2-11-3
 ☎0467-76-3399 (代表)
 発行人 川邊 溪子

私達夫婦が綾瀬市に身を寄せ高齢者施設を立ち上げたのは、私が四十三歳の年でした。昭和二十八年に老人福祉法が制定され、昭和五十六年に綾瀬市第一号の社会福祉法人道志会が誕生いたしました。神奈川県内で三十番目の老人ホームでした。四十三の数字に何か良縁を感じるの、今年道志会が開園四十三年目になっているからです。

さて、全世界が初めて経験した新型コロナウイルスの拡大は、高齢者をお預かりする施設としても職員の苦労は並大抵のものではありませんでした。ちようど施設のリニューアル工事とも重なり、ご入居様と共に

大変な苦勞を掛けてしまいましたが。しかし、道志会の職員達は見事にその苦勞を乗り越えてくれました。コロナ禍の四年間、施設内で忍耐強く研修に励み、昨年度「かながわ福祉研究大会」で二名の職員が優秀賞を頂きました。この名誉な結果報告を受け、職員達の一一致団結する姿を知り、若さが苦難を乗り越えるパワーを持っていることを知ることが出来ました。

前理事長が「世の中は三十年周期で時代が変わる」と、常に言っていたことを思い出します。振り返ってみると、施設も措置費制度から介護保険へ変わり、コロナ禍の間にデジタル化が進み、現在は人手不足に悩

み、今までにない苦勞を体験しております。

ふと戦中戦後の父母たちの苦勞を思い出しました。戦時中、「勝つまでは」と各家庭にある貴金属、金、鉄、アルミ等を国に供出することになった時、大人たちは日本の敗戦を予感したそうです。終戦は私が小学二年生の夏の事でした。生きるための食べ物を得るため、母や私たちの着物が日に日に筆筒から消えて米や野菜に代わり、私たちは育てられました。

その後、国中が必死で働き、日本は世界が驚くほどの復興を果たしました。今が有るのは、多くの戦争孤児や生き残った方々の働きのお陰であることを忘れてはならないと思います。コロナ禍や地球温暖化で多くの災害が引き起こされている現在、戦中戦後の苦勞とは違っても、当時と同じような苦しさを心の痛みは変わらないと思います。一方で、現在の世

の中を作ったのは、私たちの年代であると言えることを考えると、自分の人生に罪の意識を感じ、これが六十年過ぎた時代の変化と言うのでしょうか、未来の人達に安心安全な社会を、と祈るばかりです。

今は施設も落ち着き、散歩や施設内の庭で野菜作り等を楽しんでいるご入居者様の姿に、少しの安堵感を覚えております。



ヴィラからみる大輪のぼたん

令和6年能登半島地震1.5次避難所支援

道志会老人ホーム 施設長 大滝 愛子

令和6年元旦、石川県能登半島を襲ったマグニチュード7.6の大地震。この災害では被災地域の特色上高齢者が多く、被災した方々に介護や配慮が必要なケースもあり、受け入れ先が決まるまでの待機場所として「1.5次避難所」が開設されました。いわば「仮設老人ホーム」的なこの避難所の運営には介護者が必要で、厚生労働省からの「介護職員応援派遣」と称した1.5次避難所の介護支援の緊急募集を受け、一両日中に調整出来たホームの施設長、機能訓練指導員の2名を派遣したのは、1月末から2月にかけての6日間でした。介護支援者は日中/夜間12時間ずつ2交代で支援にあたり、我々は20時から翌8時の夜勤に就きました。

1.5次避難所に到着し、最初に衝撃を受けたのは、スポーツセンター内のジムやプールの設備を使う金沢市民と数週間入浴ができていない避難者が同じ空間にいることでした。我々が支援にあたるサブアリーナ内は「120名定員の特養」という様子で、限られた物資の中で運営されていた。体育館の構造上換気ができず、お風呂に入れない中でコロナとノロのウイルス2種の感染症が蔓延しており、寝たきりの方、認知症の方、様々な背景の被災者が避難生活を送る場所。避難者と支援者の両方にとって過酷な環境でした。

寝たきりの方の排泄交換時に気づいたのは、陰部がとても清潔に保たれていること。入浴も陰部に洗浄もできない中で皮膚に発赤すら見当たらないのは、この避難所開設当初より全国から集まった介護士が、十分な物資がない中でもそのスキルを最大限以上に発揮して日々を繋ぎ続けた証拠だと感じ、胸を打たれました。介護士だけでなく、社会福祉士やケアマネ、栄養士や医療など、様々な専門職チームが要配慮避難者の生活を守るために「今できること」のバトンを繋いでいました。

当ホーム5階の地域交流室は、災害時の要配慮避難者のための福祉避難所に指定されています。災害への十分な備えは必ず起こる「想定外」への対応力にも繋がるため、今回の避難所支援の経験を反映させた備蓄の大幅な見直しを行いました。ご利用者職員、そして地域のための「いざ」の備えを今後も続けていきたいと思えます。

能登半島地震の避難所支援活動に参加して

道志会老人ホーム 機能訓練指導員 山口 武志

2024年元旦、能登半島地震で被害に遭われた方、心よりお見舞い申し上げます。

この石川県の能登半島は私が小学生のころ、父親と1週間かけて旅行に出かけたとても思い出のある地です。その地で震災が起り、あの頃にお世話になった方々へ少しでもお手伝いができればと思います1/29(月)〜2/2(金)の5日間、石川県金沢市に位置する「いしかわ総合スポーツセンター」へ被災者支援に行っていました。

このスポーツセンターは1.5次避難所として開設され、家屋の倒壊等で生活ができなくなった方や、妊婦、高齢者等で支援を必要とする方が2次避難所に移るまでの一時避難施設となっております。

支援体制として各県より要請を受け参集したD・M・A・T(災害医療派遣)、J・R・A・T(災害リハビリ派遣)、災害福祉チーム等の多数で構成され、私は介護職員応援派遣として高齢者支援の夜間業務に携わりました。当時施設内ではコロナ、ノロウイルスが蔓延しており、感染者と非感染者がパーテーションで区分けされておりましたが、スポーツセン

ターの構造上、換気設備が備わっていない中、同じ空間で過ごしているため感染者が増加している状況でした。支援4日目のことです。担当していた感染症ゾーン内である方のケアに当たった際、首元に汗ばんでいる方がおられ、コロナウイルス陽性もあり当初その発熱かと思いましたが、冬のスポーツセンターでは汗ばむこともなく、また他の陽性者と症状が異なり、心配となり検温を行いました。すると35.9、36.0度と発熱症状は見られませんでした。しかし、その発汗が気になりD・M・A・T(災害医療派遣)へ連絡し診察をしていただいたところ低血糖による症状と判明しました。避難所では被災者や支援者が日々入れ替わり、その対応方法や情報伝達も追いつかず様々なことが混乱している状況です。担当している自分たちが今、目の前で実際に起こっていることに気づきその情報をしっかり担当部署へ伝達することで被災者の安全な生活へと繋がると思います。

今回の避難所支援を経験し、気づきの重要性を改めて実感しました。この経験を今後の仕事にも役立てていきたいと思えます。

介護施設では令和6年4月からBCP(業務継続計画)の策定が法的に義務化されました。道志会では事業所ごとに感染症と災害のBCPを策定してきました。

遡ること1月末から2月初め、国からの介護職員応援派遣に応じて、道志会老人ホームの職員2名が能登半島地震で被災された高齢者の方々を支援する1.5次避難所支援活動に従事いたしました。

今後、この支援活動に従事した職員2名の貴重な経験を、道志会のBCPの進化に活かしていきたいと思っております。



道志会の月ごとのイベントを御紹介して行きます。

津軽三味線の力強い音に、聞いている方も真剣そのもの



ヴァイ

誕生会

ホーム



サンタからのプレゼント届きました

ケアセンター



クリスマス会、
サンタさんから
プレゼントを
もらったよ

保育園



茶道部の生徒がお茶を点ててくれました

西テイ



職員サンタとハイチーず



ヴァイ



ハッピーバースデー&
メリークリスマス

ホーム



素敵な笑顔で Happy Xmas

西テイ





立派なひな人形に皆びっくり



保育園



元日のおせちとお屠蘇 大きなエビが人気!!



ホーム

どんと焼き みんなでかこむと楽しいね



ホーム

お誕生日おめでとうございます



ホーム

寒い公園 4人集まればあったか〜い



西デイ

西デイ神社「大吉でした!」



ケアセンター

お正月 しめなわがざりましょう



保育園

今日はお部屋でおままごと



西デイ

新春をお祝いし 初釜をおこないました



ヴィラ

お団子持って順番待ち



保育園

寒い公園 4人集まればあったか〜い



ヴィラ

「東北東」に向けて恵方巻を頂きました



西デイ

的めがけて「ソレ〜」



ヴィラ

ガオー 鬼だぞー ワーッ あなた怖いわ〜



保育園

新聞紙のお豆で鬼はそと〜



西デイ

年女さんに「福」を蒔いてもらいましょう



西デイ

ハーモニカ発表会 3ヶ月に一度開催中



ヴィラ



稲田様のギターと歌で、楽しい誕生会となりました



西デイ

ハワイアン音楽に合わせて 楽しく体操します

保育園のこいのぼり



保育園



保育園

子供の日の主役 兜の前にせい揃い

どこかに
理事長が
隠れています。
探してみてください！



西デイ

西高の桜は最高にキレイだね



保育園

じょうずに返事ができたね

ホーム



厨房のこいのぼり



ホーム

中庭でイチゴ狩りをしました
甘くておいしい♡



西デイ

新茶の香り、良い香り

生涯学習の様子



包括



ホーム

家族とひなたぼっこ



訪問

ヘルパーさん
雨の中でもがんばってます!!



ウイ

道志会の「花祭り」に行ってきました



ホーム

お昼から一杯



男性四人組で花見



ホーム

スナックえんどうがとれました
食べるにはスジを取らなきゃね~



ウイ

綺麗に咲いてるわ



西デイ

得意の塗り絵でお孫さんに
プレゼントを作成しました



包括

お楽しみ会 パラ園散策



包括

お楽しみ会 初めての洋食メニュー



居宅

毎週木曜日の伝達会議の様子です
みんな真剣です!!



保育園

東山公園へお散歩 桜がきれいだったよ

老人ホームの新たな職員のご紹介



大瀧 美優 (ケアワーカー)

海老名市出身。趣味は手芸と外食と音楽鑑賞。元々はリハビリ系の仕事を目指していましたが、デイサービスとグループホームのアルバイトで介護の仕事に興味を持ち、介護福祉士の資格取得を目指して道志会に就職しました。ご利用者様の言葉に耳を傾けながら、安心して頂ける介護を実践していきたいと思ひます。

江藤 天佑 (ケアワーカー)

大学は文学部、読書好きで、本は月に30冊以上読みます。学生時代はラグビー部、現在も週2、3回ウェイトトレーニングを続けているので体格体力は自信があります。初任者研修を修了して、道志会に就職しました。早く一人前になれるよう頑張ります。



道志会 不二保育園 新園長・職員のご紹介

この度、不二保育園の園長となりました井澤くるみと申します。

企業内保育園での園長は初めてですが皆様の力をお借りし、笑顔あふれる保育園作りを目指して参ります。新しい保育士も仲間入りをし、チーム保育を大切にしながら輝く大人を子ども達に見せていきたいと思ひます。

また、道志会・ヴィラのご利用者様とのふれあいの場を持ち、愛される施設として頑張つて参りますのでどうぞよろしくお願ひ致します。



新園長の
井澤くるみ先生



新しく入職された
飯田先生・岩原先生・古角先生・西村先生

飯田弘江先生…いっぱい遊んで子ども達の興味、関心を広げ楽しく過ごしていきたいと思ひます。
岩原千夏先生…安心してお子さまをお預かりし、笑顔いっぱいで過ごしたいと思ひます!!
古角晴恵先生…沢山遊んで、楽しく過ごしたいと思ひます。
西村紫織先生…元気いっぱいがんばりますのでよろしくお願ひ致します!!

事業所のお子さま 7名 地域のお子さま 11名
一時預かり 10名 (内事業所のお子さま5名) が不二保育園をご利用されてます。(5/31 現在)

★入園に関するお問い合わせは 0467-78-6628 お気軽にお電話ください。

編集後記

この度の会報では、昨年の暮れから今年6月までの様々なイベントについてお伝えしました。今年の桜は開花が遅く、天候も良く長く楽しむ事ができました。又、園庭にできた作物はご入居者や園児に収穫してもらい、賑やかな日々が続いています。

半面、能登半島地震の発生で大変な日々をお過ごしになっていらっしゃる皆様にも、誰かが災害に遭うことを覚悟せねばならないと思う日々です。私達の法人からは延べ4名の職員を石川の避難所に派遣しております。過日行った職員研修では能登半島地震職員派遣報告を行い、被災地の現状を聞き、有事の際に職員としての行動を再確認致しました。その後たくさんの職員から「災害があったらこうしたいほうがいいですね。」「ここはこうしよう。」という言葉が聞かれ、対応についての検討を重ねております。先代の理事長が常々話していた「時代の変化に職員が対応していかなければならない」ことを自覚し今後に備えていきたいと思ひます。

事務長 倉下 学



道志会
老人ホーム



道志会
ケアセンター

おことわり

※今回掲載させて頂いたご入居者・ご家族の写真や文章については了解を得ております。
※会報発行にあたりご意見等をぜひお寄せください。

